



三菱UFJリース

2013年3月期第2四半期 決算概要

決算発表日：2012年11月5日

- お問い合わせ先
広報IR部
TEL 03-6865-3002 FAX 03-6895-5306
- 当社ホームページアドレス
<http://www.lf.mufg.jp/>（日本語）
<http://www.lf.mufg.jp/english/>（英語）

※本資料には現時点での将来予測数値が含まれますが、将来の様々な要因により変動することがありますので、ご注意ください

Value Integrator

目次

1. 2013年3月期第2四半期決算概要	3
2. 連結決算主要項目の推移	4
(1) 損益計算書 関連項目	4
(2) 貸借対照表 関連項目	6
3. 資金調達の状況	8
4. 貸倒関連費用等	9
5. 主要連結構成会社の決算概要	10
6. 営業状況(契約実行高)	12
取引種類別内訳、取引種類別構成比	12
国内外契約実行高の推移	12
リース契約実行高の増減推移	12
機種別(リース・割賦)、取引形態別(金融・その他)内訳	13
7. 営業の取組み	14
1) オペレーティングリース	14
2) 中古機器売買	14
3) e-Leasing Direct (資産管理サービス)	15
4) オートリース	15
5) 環境関連サービス	16
6) 不動産関連ファイナンス (不動産関連サービス)	17
7) シンフォニー (不動産関連サービス)	17
8) PFI事業	18
9) ファクタリング	18
8. 2013年3月期業績予想	19
9. 中期経営計画“ Vision 2013 ”	20

1. 2013年3月期第2四半期 決算概要

(金額単位:億円)

	2013/3期 第2四半期	前年同期比 (増減率)	2012/3期 第2四半期
売上高	3,528	-2.3%	3,612
売上総利益	646	+10.9%	583
営業利益	331	+7.7%	307
経常利益	367	+10.2%	333
純利益	211	+14.9%	184
契約実行高	6,139	+3.1%	5,952

(金額単位:億円)

	2013/3期 第2四半期	前期末比 (増減率)	2012/3期末
純資産	4,379	+4.0%	4,208
総資産	36,774	-0.1%	36,822

国内経済は、緩やかな回復基調にあるものの、長引く円高の影響や新興国経済の減速懸念などにより足踏み状態が続きました。

こうした中、当社グループでは、環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しつつ、多様化・高度化するお客様ニーズにお応えする総合ファイナンスカンパニーとして持続的な成長を遂げるべく、中期経営計画「Vision2013」で掲げた各種戦略・施策を着実に実行に移してまいりました。

損益面では、プライベートエクイティ事業において売却益を計上したことに加え、低利で安定した資金調達を実施したことなどにより、売上総利益は前年同期比10.9%増加の646億円、営業利益は前年同期比7.7%増加の331億円、経常利益は前年同期比10.2%増加の367億円、純利益は前年同期比14.9%増加の211億円と、それぞれ増益となりました。

営業面では、当第2四半期累計期間の契約実行高は、付加価値型商品サービスの提供を通じて、国内外の多様なニーズに積極的に対応した結果、前年同期比3.1%増加の6,139億円となりました。

純資産は純利益の積上げ等により前期末比4.0%増加の4,379億円、総資産は前期末比略横ばいの36,774億円となりました。

2. 連結決算主要項目の推移

(1) 損益計算書 関連項目

(金額単位:百万円)

	09/3第2四半期	10/3第2四半期	11/3第2四半期	12/3第2四半期	13/3第2四半期
	08年4月～9月	09年4月～9月	10年4月～9月	11年4月～9月	12年4月～9月
1 売上高	425,565	372,573	365,481	361,248	352,889
	-14.4%	-12.5%	-1.9%	-1.2%	-2.3%
2 賃貸料収入	319,156	279,495	281,303	280,055	273,854
	-16.9%	-12.4%	+0.6%	-0.4%	-2.2%
3 割賦売上高	73,464	61,491	51,339	46,633	42,704
	-12.4%	-16.3%	-16.5%	-9.2%	-8.4%
4 営業貸付収入	18,735	19,386	18,665	17,682	17,278
	+5.9%	+3.5%	-3.7%	-5.3%	-2.3%
5 その他の売上高	14,208	12,201	14,172	16,876	19,052
	+24.9%	-14.1%	+16.2%	+19.1%	+12.9%
6 売上原価	371,155	319,024	305,813	302,900	288,195
	-16.4%	-14.0%	-4.1%	-1.0%	-4.9%
7 売上原価 / 売上高 (売上高売上原価率)	87.2%	85.6%	83.7%	83.8%	81.7%
	-2.1P	-1.6P	-1.9P	+0.1P	-2.1P
8 賃貸原価	281,203	242,847	240,267	239,893	233,437
	-17.9%	-13.6%	-1.1%	-0.2%	-2.7%
9 割賦原価	68,264	56,229	46,691	42,356	38,694
	-12.3%	-17.6%	-17.0%	-9.3%	-8.6%
10 資金原価	16,558	14,545	10,915	9,183	8,706
	-1.5%	-12.2%	-25.0%	-15.9%	-5.2%
11 その他の売上原価	5,128	5,401	7,939	11,466	7,357
	-24.8%	+5.3%	+47.0%	+44.4%	-35.8%
12 売上総利益	54,410	53,549	59,667	58,348	64,693
	+2.6%	-1.6%	+11.4%	-2.2%	+10.9%
13 売上総利益 / 売上高 (売上高売上総利益率)	12.8%	14.4%	16.3%	16.2%	18.3%
	+2.1P	+1.6P	+1.9P	-0.1P	+2.1P
14 従業員数	2,330	2,256	2,268	2,288	2,386
15 一人当たり売上総利益 (年換算…×2)	46.7	47.5	52.6	51.0	54.2
	-1.0%	+1.6%	+10.8%	-3.1%	+6.3%
16 販売費及び一般管理費	33,240	40,095	31,960	27,560	31,537
	+24.1%	+20.6%	-20.3%	-13.8%	+14.4%
17 人件費	10,701	10,582	10,996	11,332	11,596
	-0.8%	-1.1%	+3.9%	+3.1%	+2.3%
18 物件費	12,046	11,588	11,945	12,356	12,837
	-14.3%	-3.8%	+3.1%	+3.4%	+3.9%
19 貸倒関連費用 (一般貸倒引当金を含む)	10,493	17,925	9,019	3,871	7,103
	+439.5%	+70.8%	-49.7%	-57.1%	+83.5%
20 OHR	41.8%	41.4%	38.4%	40.6%	37.8%
	-5.0P	-0.4P	-3.0P	+2.1P	-2.8P
21 営業利益	21,170	13,453	27,707	30,787	33,156
	-19.3%	-36.5%	+105.9%	+11.1%	+7.7%
22 営業利益 / 売上高 (売上高営業利益率)	5.0%	3.6%	7.6%	8.5%	9.4%
	-0.3P	-1.4P	+4.0P	+0.9P	+0.9P
23 経常利益	21,268	14,200	28,626	33,332	36,720
	-19.8%	-33.2%	+101.6%	+16.4%	+10.2%
24 特別利益	926	7,934	925	60	234
	-50.6%	+756.5%	-88.3%	-93.4%	+284.3%
25 特別損失	5,591	1,484	3,799	305	382
	+454.4%	-73.5%	+155.9%	-92.0%	+25.0%
26 純利益	9,114	10,567	13,496	18,443	21,198
	-40.5%	+15.9%	+27.7%	+36.7%	+14.9%

※下段の%、P(ポイント)は前年同期比を掲載

1. その他の売上高について(5行目)

主に物件販売による収入、有価証券の収入、各種手数料収入などが含まれています。
 なお、当第2四半期においてプライベートエクイティ投資事業収入約63億円を計上しています。

2. その他の売上原価について(11行目)

物件販売における仕入コストや各種支払手数料が含まれています。

3. 貸倒関連費用(19行目)

(金額単位:億円)

	個別引当金	一般引当金	合計
単体	59	-19	40
連結子会社等	37	-6	31
合計	96	-25	71

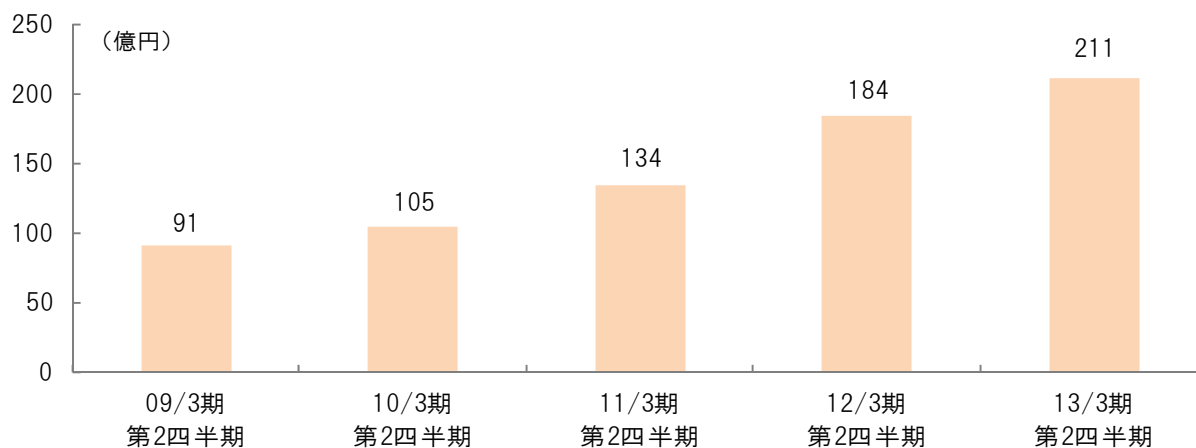
4. 特別利益(24行目)

投資有価証券売却益として約2億円計上しています。

5. 特別損失(25行目)

投資有価証券評価損等を約3億円計上しています。

6. 純利益の推移(26行目)



7. グループ会社数

当第2四半期末時点における連結子会社数、持分法適用関連会社数は以下の通りです。

連結子会社数	持分法適用関連会社数
87	5

(2) 貸借対照表 関連項目

(金額単位:百万円)

	09/3期	10/3期	11/3期	12/3期	13/3期第2四半期
	09/3末	10/3末	11/3末	12/3末	12/9末
1 純資産合計	342,633	366,891	389,802	420,864	437,904
	+9.7%	+7.1%	+6.2%	+8.0%	+4.0%
2 総資産額	3,909,077	3,885,161	3,721,136	3,682,299	3,677,446
	-1.4%	-0.6%	-4.2%	-1.0%	-0.1%
3 営業資産残高	3,497,071	3,517,982	3,393,547	3,335,620	3,326,873
	-3.7%	+0.6%	-3.5%	-1.7%	-0.3%
4 内貸貸事業	1,565,325	1,677,155	1,673,572	1,667,454	1,680,325
	-12.8%	+7.1%	-0.2%	-0.4%	+0.8%
5 内割賦販売事業	368,467	297,051	242,147	222,433	218,962
	-14.5%	-19.4%	-18.5%	-8.1%	-1.6%
6 内貸付事業	1,227,716	1,222,770	1,174,661	1,193,607	1,211,725
	+7.1%	-0.4%	-3.9%	+1.6%	+1.5%
7 内その他の事業	335,562	321,005	303,167	252,124	215,860
	+29.7%	-4.3%	-5.6%	-16.8%	-14.4%
8 破産更生債権等	47,983	46,351	40,921	49,451	51,140
	+651.8%	-3.4%	-11.7%	+20.8%	+3.4%
9 貸倒引当金	3,694	8,487	9,335	15,533	17,134
10 ネット破産更生債権等	44,288	37,863	31,586	33,918	34,006
	+913.9%	-14.5%	-16.6%	+7.4%	+0.3%
11 自己資本比率	8.4%	9.1%	10.0%	10.9%	11.4%
	+0.9P	+0.7P	+0.9P	+0.9P	+0.5P
12 ROE…株主資本純利益率	2.3%	6.1%	7.1%	8.9%	10.3%
	-11.3P	+3.8P	+1.0P	+1.8P	+1.4P
13 ROA…総資産純利益率	0.2%	0.5%	0.7%	0.9%	1.2%
	-0.8P	+0.3P	+0.2P	+0.2P	+0.3P
14 有利子負債	3,190,431	3,148,926	2,961,470	2,893,504	2,883,009
	-3.7%	-1.3%	-6.0%	-2.3%	-0.4%
15 間接調達	1,842,291	1,740,993	1,614,526	1,631,959	1,652,315
	+4.3%	-5.5%	-7.3%	+1.1%	+1.2%
16 直接調達	1,348,139	1,407,932	1,346,944	1,261,545	1,230,694
	-13.0%	+4.4%	-4.3%	-6.3%	-2.4%
17 内CP	892,900	872,400	866,000	719,300	738,400
	-0.9%	-2.3%	-0.7%	-16.9%	+2.7%
18 内リース債権流動化	162,959	152,256	101,944	104,215	121,829
	-43.4%	-6.6%	-33.0%	+2.2%	+16.9%
19 内社債	292,280	383,276	379,000	438,030	370,465
	-18.8%	+31.1%	-1.1%	+15.6%	-15.4%
20 直接調達比率	42.3%	44.7%	45.5%	43.6%	42.7%
	-4.4P	+2.4P	+0.8P	-1.9P	-0.9P

※下段の%、P(ポイント)は前期末比を掲載

1. 内賃貸事業について(4行目)

流動資産の「リース債権およびリース投資資産」と有形固定資産及び無形固定資産の「賃貸資産」の合計を表示しています。

2. 内割賦販売事業(5行目)

割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しています。

3. 内貸付事業の内訳(6行目)

(金額単位:億円)

	営業貸付金			その他営業 貸付金 ^{※3}	合計
	一般貸付金	リースみなし 取引等 ^{※1}	子会社宛 貸付金 ^{※2}		
09/3月末	9,977	1,368	208	724	12,277
10/3月末	9,725	1,643	96	763	12,227
11/3月末	9,361	1,630	94	660	11,746
12/3月末	9,541	1,586	116	692	11,936
12/9月末	9,699	1,602	83	731	12,117

※1:リースみなし取引とは、お客様との間ではリース契約取引ですが、会計上は貸付金として処理している取引です。

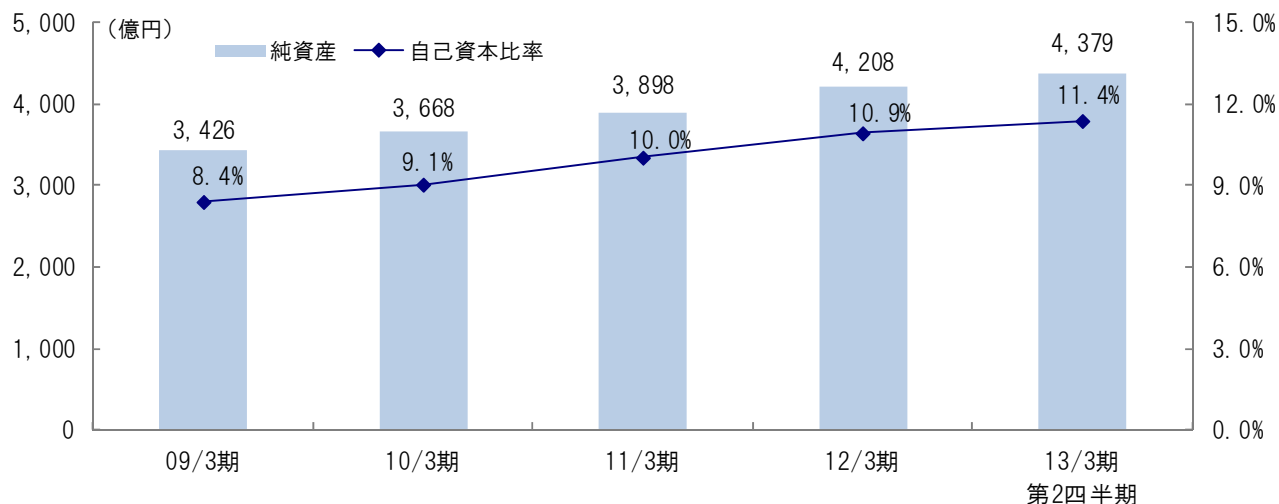
※2:主に非連結子会社向け貸付金です。

※3:主にファクタリング債権です。

4. 内その他の事業(7行目)

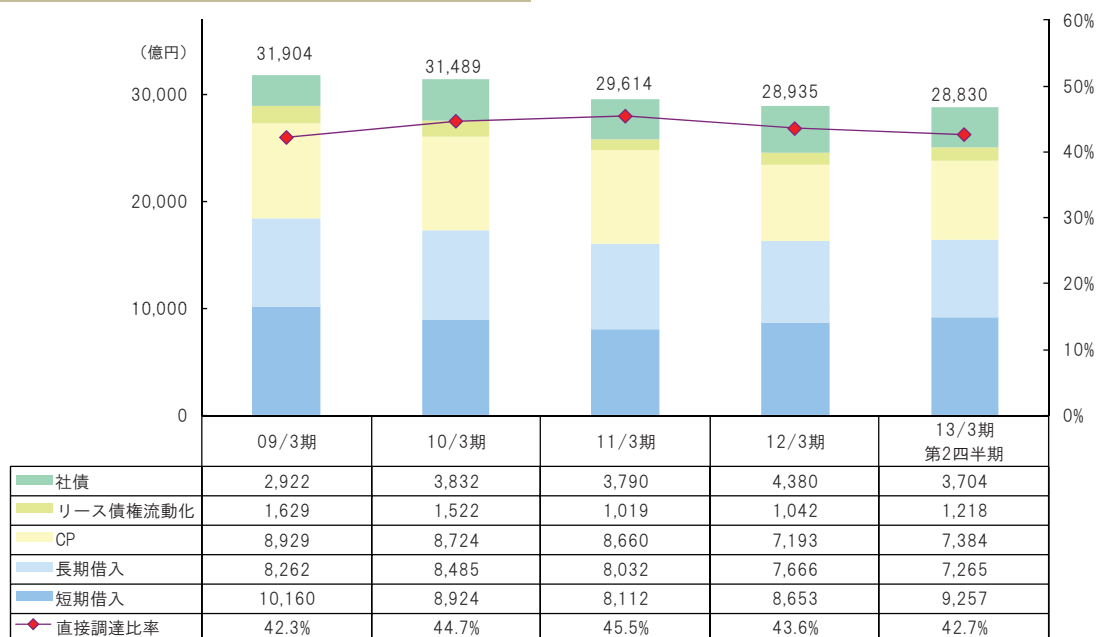
営業有価証券、営業出資金などが含まれています。

5. 純資産と自己資本比率の推移(1行、11行目)



3. 資金調達状況

(1) 調達構造



連結ベースの有利子負債残高は2兆8,830億円となり、前期末比104億円減少いたしました。金利変動リスクに対しては、主に金利スワップによるヘッジオペレーションを行っています。当期末の金利スワップの想定元本(固定化スワップ)は2,464億円です。

(2) 社債の発行状況

発行時期	金額	期間	利率 (年)	スプレッド	
				スワップ比	国債比
2009年9月	250億円	4年	1.110%	+33.0bp	-
2009年12月	300億円	3年	0.820%	+16.0bp	-
2010年3月	200億円	4年	0.720%	+6.0bp	-
2010年6月	250億円	5年	0.687%	-3.0bp	+23.0bp
2010年9月	200億円	5年	0.532%	-3.0bp	+23.0bp
2011年1月	200億円	5年	0.634%	-3.0bp	+18.0bp
2011年4月	300億円	5年	0.796%	+8.5bp	+27.0bp
2011年7月	200億円	5年	0.567%	-1.0bp	+16.0bp
2011年12月	200億円	5年	0.660%	+11.2bp	+28.0bp
2012年2月	300億円	3年	0.402%	-0.7bp	+27.0bp
2012年2月	100億円	5年	0.578%	+7.7bp	+27.0bp
2012年5月	300億円	2年	0.280%	-11.9bp	+18.0bp
2012年5月	100億円	5年	0.487%	+0.2bp	+24.0bp

最近の社債

- ◆第20回無担保普通社債
発行時期 : 2012年10月
金額 : 500億円
期間 : 2年
利率(年) : 0.331%
スプレッド : スワップ比+2bp
国債比+23bp
- ◆第21回無担保普通社債
発行時期 : 2012年10月
金額 : 100億円
期間 : 5年
利率(年) : 0.436%
スプレッド : スワップ比+6.4bp
国債比+24bp

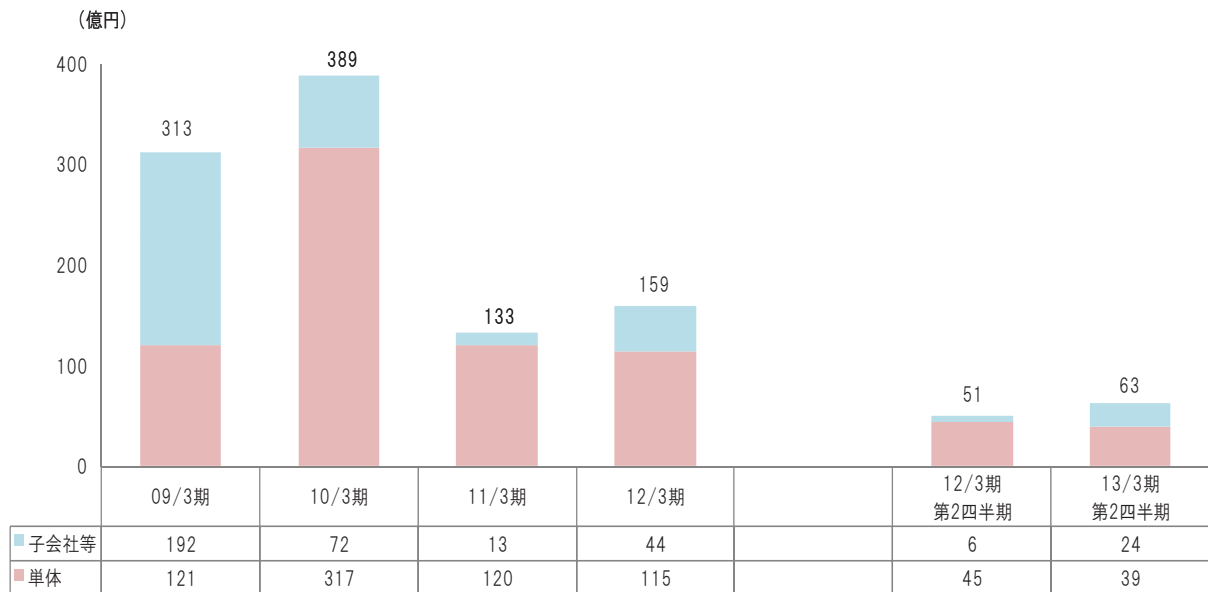
※「スワップ比」は、発行した社債の期間に対応するスワップレートと社債利率の差を表示。

(3) 外部格付について(2012年11月5日時点)

格付機関	長期	短期
JCR (日本格付研究所)	AA-	J-1+
R&I (格付投資情報センター)	A+	a-1
Moody's	A3	-
S&P	A	-

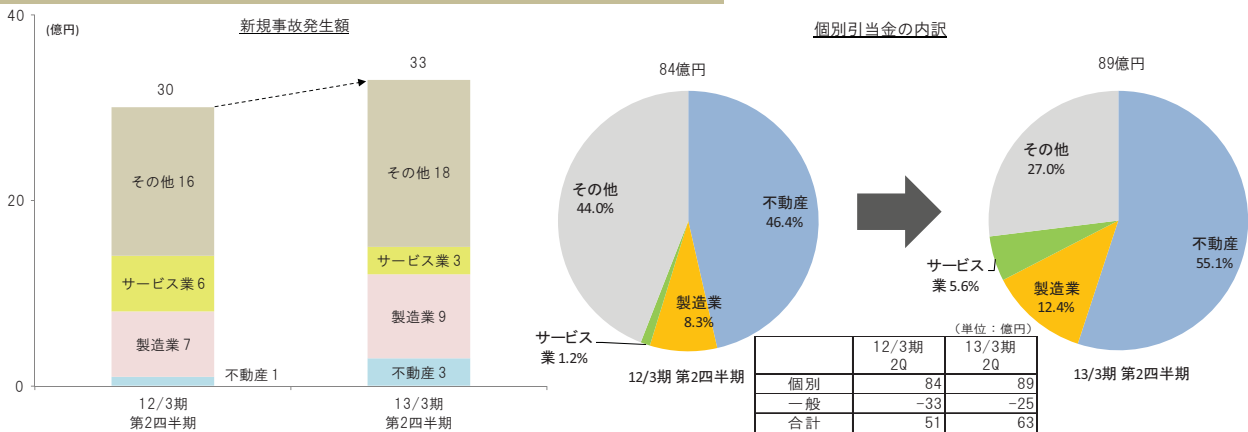
4. 貸倒関連費用等

(1) 総貸倒関連費用の推移



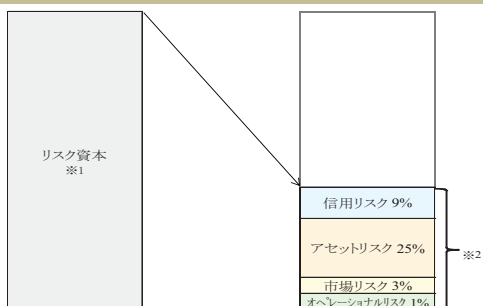
上記金額は、連結ベースの総貸倒関連費用です。当該金額には、売上原価処理分、販売費および一般管理費計上分、営業外損益、特別損益計上分が含まれています。

(2) 新規事故発生額と総貸倒関連費用の前年同期比較(業種別)



新規事故発生額は、前年同期比3億円増加の33億円となりました。総貸倒関連費用は、一般引当金の戻りが減少したこと等により前年同期比12億円増加の63億円となりました。

(3) 統合リスク管理



様々なリスクを計量化することにより、統合的なリスク管理を行っています。左表は、2012年9月末時点の各種リスクについて、最大損失額をVaR (Value at Risk) 等で算出したリスク量です。信用・市場・オペレーショナルなどのリスクに留まらず、アセットリスクまで算出するなど、厳格なリスクマネジメントを行っています。

5. 主要連結構成会社の決算概要

金額単位: 百万円

損益項目	三菱UFJリース (MUL) (単体)		日医リース (日医) MUL持分割合: 100%		ディー・エフ・エル・リース (DFL) MUL持分割合: 95%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	234,094	-4.1%	17,904	+1.9%	8,731	-3.2%
売上総利益	35,883	-6.5%	1,888	-2.5%	1,034	-5.2%
営業利益	16,975	-13.6%	934	-1.7%	659	-35.2%
経常利益	19,294	-7.8%	1,077	+9.4%	680	-35.9%
純利益	11,299	-1.7%	644	+13.4%	421	-35.3%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	2,551,344	-1.6%	90,823	+0.6%	44,598	+0.8%
総資産	2,880,306	-1.6%	93,793	+0.9%	46,173	+1.2%
純資産	360,722	+1.7%	10,947	+6.2%	8,528	+5.2%

金額単位: 百万円

損益項目	神鋼リース (神鋼) MUL持分割合: 80%		カシオリース (CL) MUL持分割合: 80%		ひろぎんリース (HL) MUL持分割合: 80%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	13,342	-1.7%	6,378	-26.4%	9,362	-10.3%
売上総利益	1,281	+6.0%	715	-21.4%	1,147	-9.1%
営業利益	633	+7.8%	386	-30.1%	839	-20.9%
経常利益	659	+5.8%	416	-28.1%	924	-25.5%
純利益	384	+19.0%	252	-25.8%	547	-25.2%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	100,324	-0.7%	28,151	-6.0%	53,937	+1.2%
総資産	104,736	-0.2%	29,024	-6.2%	56,404	+0.8%
純資産	6,493	+5.3%	10,867	+2.4%	8,612	+6.8%

金額単位:百万円

損益項目	首都圏リース(首都圏) MUL持分割合:76%		中京総合リース(中京) MUL持分割合:70%		MMCダイヤモンドファイナンス(MDF) MUL持分割合:50%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	12,380	+3.8%	3,580	-1.1%	9,933	+9.9%
売上総利益	1,748	+1.7%	400	-4.8%	4,393	+11.6%
営業利益	950	+1.1%	299	+194.5%	1,181	+32.1%
経常利益	1,059	+4.7%	329	+134.3%	1,373	+31.6%
純利益	648	+9.3%	203	+145.5%	827	+36.4%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	96,768	+2.5%	20,369	+0.2%	244,563	+4.6%
総資産	99,831	+2.6%	21,602	-0.4%	264,416	+5.2%
純資産	10,550	+5.9%	4,903	+4.1%	13,609	+6.5%

金額単位:百万円

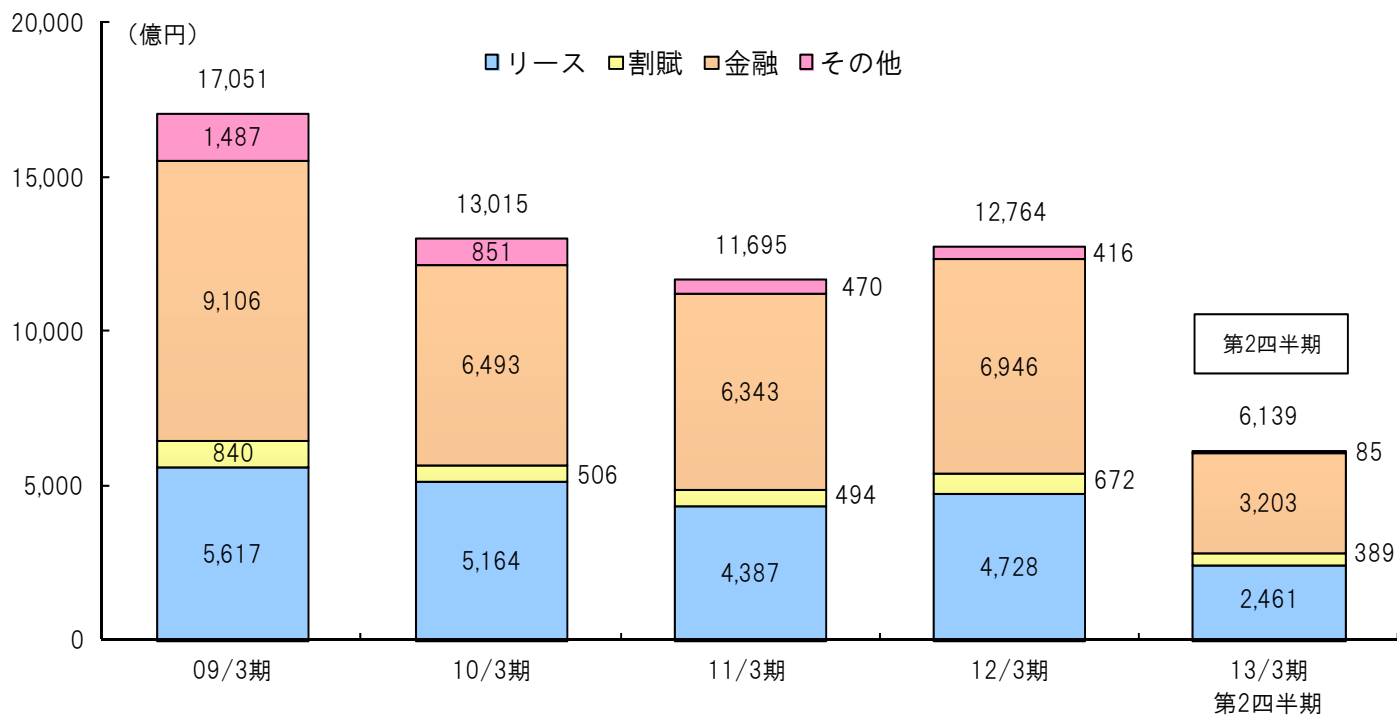
損益項目	ダイヤモンドレンタルシステム(DRS) MUL持分割合:100%		ダイヤモンドアセットファイナンス(DAF) MUL持分割合:100%		御幸ビルディング(御幸ビル) MUL持分割合:98%	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	12,050	-1.4%	7,376	-36.3%	3,156	+3.0%
売上総利益	1,247	+3.5%	2,320	+31.9%	1,760	+1.7%
営業利益	429	+40.4%	1,157	-35.0%	1,517	+3.8%
経常利益	428	+45.8%	1,266	-33.1%	1,248	+4.2%
純利益	261	+59.0%	1,258	-32.6%	733	+5.9%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	51,801	+2.7%	175,609	+5.1%	53,236	-0.7%
総資産	55,499	+5.7%	182,820	+3.7%	57,757	+1.0%
純資産	4,308	+6.5%	17,657	+7.7%	19,679	+3.8%

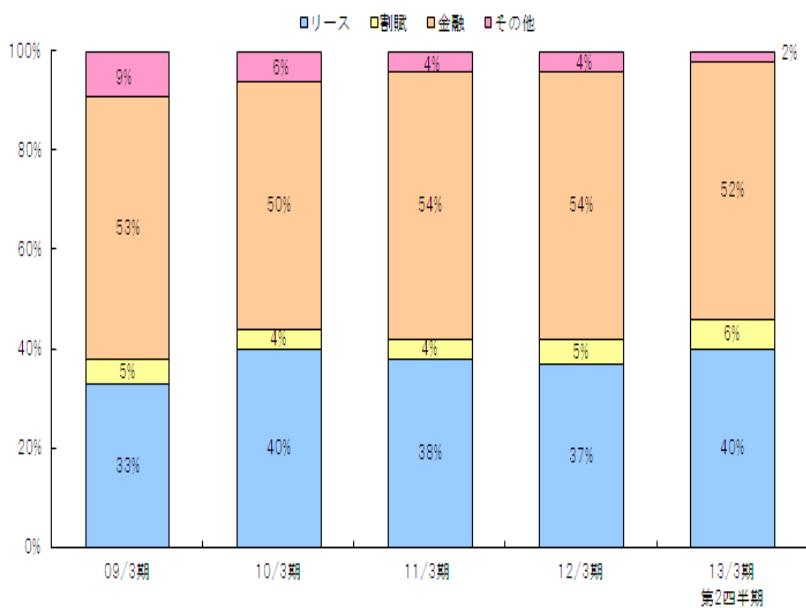
6. 営業状況(契約実行高)

2013年3月期第2四半期における契約実行高は、前年同期比3.1%増加の6,139億円となりました。取引種類別の内訳は、リース取引が前年同期比8.3%増加、割賦取引が前年同期比48.3%増加、金融・その他取引が前年同期比3.7%減少となりました。取引種類別構成比は、リース40%、割賦6%、金融・その他54%となっております。

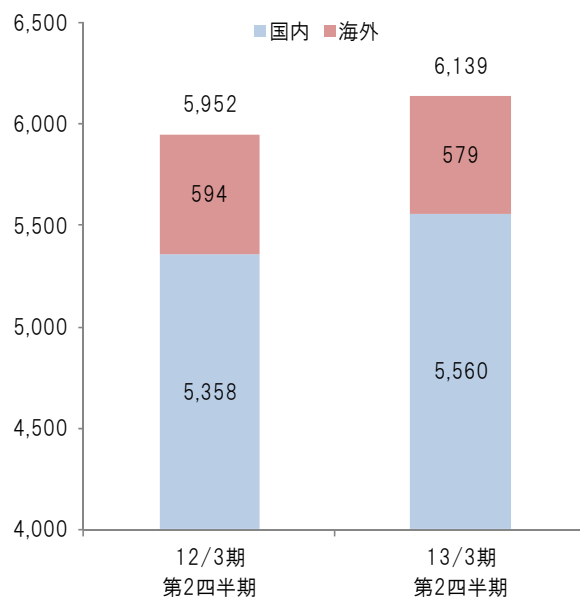
取引種類別契約実行高(元本ベース)の推移



取引種類別契約実行高の構成比



国内外契約実行高の推移



リース契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2012/3期 第2四半期	2013/3期 第2四半期	前年同期比
情報関連・事務用機器	637	666	+4.5%
産業・工作機械	537	579	+7.7%
土木建設機械	64	139	+116.2%
輸送用機械	176	115	-34.7%
医療機器	217	228	+5.2%
商業用およびサービス機器	281	351	+25.0%
その他	357	380	+6.4%
合計	2,273	2,461	+8.3%

割賦契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2012/3期 第2四半期	2013/3期 第2四半期	前年同期比
情報関連・事務用機器	11	14	+30.4%
産業・工作機械	36	36	-1.3%
土木建設機械	47	81	+70.1%
輸送用機械	12	19	+54.8%
医療機器	31	35	+10.6%
商業用およびサービス機器	64	111	+72.2%
その他	57	90	+58.0%
合計	262	389	+48.3%

金融・その他契約実行高

(単位:億円)

	2012/3期 第2四半期	2013/3期 第2四半期	前年同期比
ファクタリング	1,377	1,237	-10.2%
不動産関連	310	656	+111.6%
その他融資等	1,729	1,396	-19.3%
合計	3,417	3,289	-3.7%

契約実行高 合計(リース、割賦、金融、その他)

(単位:億円)

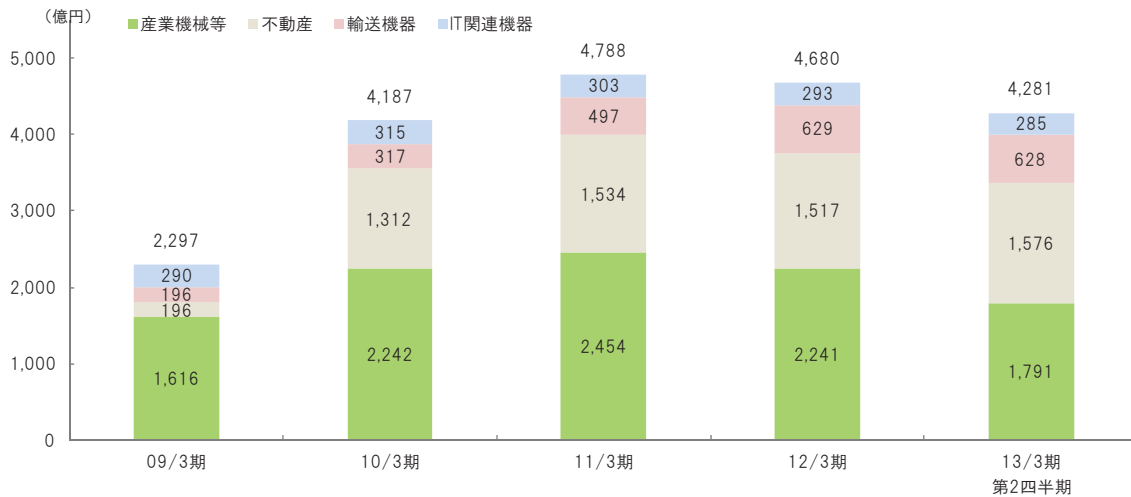
	2012/3期 第2四半期	2013/3期 第2四半期	前年同期比
合計	5,952	6,139	+3.1%

7. 営業の取組み

1) オペレーティングリース

物件価値に着目し、リース期間満了後の残価を設定しリース料を算定するオペレーティングリース取引では、産業工作機械や輸送機器、PCレンタル等、幅広い物件を取り扱っています。オペレーティングリースは、お客様のご希望に応じたリース期間の設定が可能のため、生産スケジュールに応じた機動的な設備導入が可能です。当社は業界で早くからオペレーティングリースを展開し、サービスの向上を図っております。

オペレーティングリース残高推移



2) 中古機器売買

リースビジネスで培った経験とノウハウを活用して、半導体製造設備や、工作機械、医療機器、情報関連機器など、多種多様な中古機器の売買事業を展開しています。タイムリーに設備を導入したい、安全な中古機器を導入したい、というお客様のニーズにお応えしています。

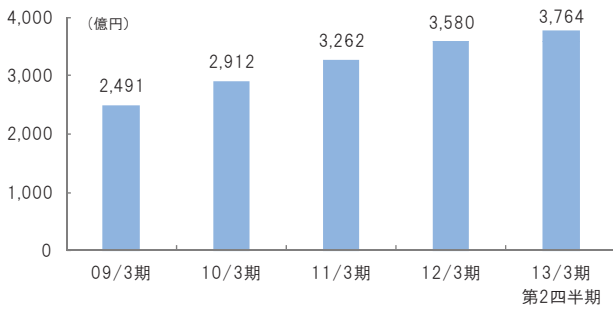
三菱UFJリースのグループネットワーク

ユーマシン		年間約5千台の機器を取り扱う中古工作機械・産業機械の専門商社。国内3ヶ所に自社倉庫を有するほか、2012年にはタイ現法を設立するなど国内外のサービスを拡張しています。
エム・キャスト		中古医療機器の販売・買取を行う業界トップクラスの専門商社。業界で初めてISO9001を取得するなど、徹底した品質管理を行い、安全性の高い中古医療機器を提供しています。
ダイヤモンド・イクイップメント		中古半導体製造装置の販売と買取を行う専門商社。ワールドワイドのネットワークで、国内外のお客さまに装置の売買情報を提供しています。
MULエコビジネス		リースアップしたPCやOA機器など年間約22万台を仕入れ、データ消去などの情報漏洩対策を施した上で、リユース・リサイクルを行っています。
グローバル・アセット・ソリューション		工場の不要となったライン一式などの大規模設備や、用途に応じてカスタマイズされた機器などを対象とした仕入・販売をグローバルに手がけています。

3) e-Leasing Direct (資産管理サービス)

当社独自の資産管理サービス「**e-Leasing Direct**」では、契約から満了までの一連の手続きをWeb上で行うことができ、リース会計基準に対応した会計関連情報を迅速かつ無償でお客様にご提供いたします。お客様が使用されている資産データと、リース契約情報を紐付けることができますので、資産管理やコスト把握にもご活用頂けます。さらに、お客様が社内で行うリース契約手続きにおいて、**e-Leasing Direct**が持つ電子承認機能をご活用頂くことで、内部統制管理の強化にもお役立て頂けます。

e-Leasing Direct の残高推移



導入事例



【TOPICS】

資産管理の新サービスを開始

2012年10月より、新サービス「e-Leasing Direct Platinum」の取扱いを開始しました。e-Leasing Direct Platinumは、お客様が保有するすべての資産についての導入から処分に至るまでの様々な情報（アセットライフログ）を統合して管理することのできる、全く新しいコンセプトの資産管理プラットフォームです。

「アセットライフログ」を一元管理

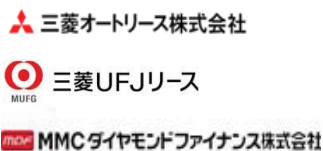


資産のライフサイクルにおける各部門の様々な情報を一元管理することで、経営資源の最適化が可能に！

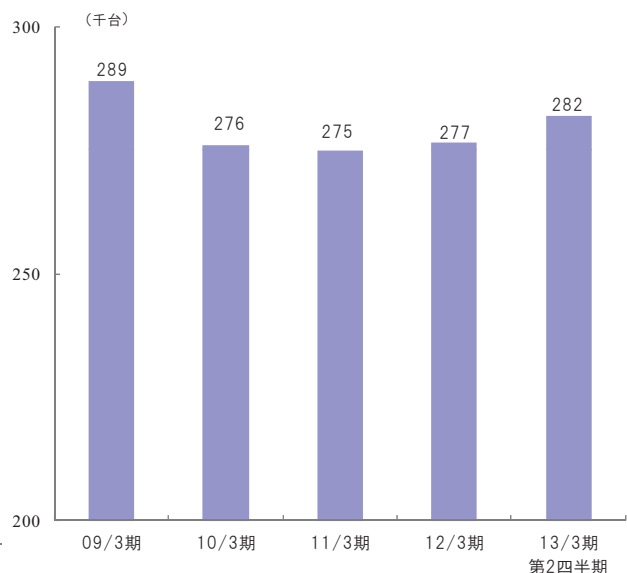
4) オートリース

オートリース事業を行う三菱オートリース(三菱UFJリース50%、三菱商事50%出資)、オートクレジット事業を行うMMCダイヤモンドファイナンス(三菱UFJリース50%、三菱自動車工業47%出資)をグループ会社に擁し、オートファイナンス分野において一層のサービス向上・強化を図っています。2012年9月末時点のグループ全体の車両管理台数は約282千台となっています。

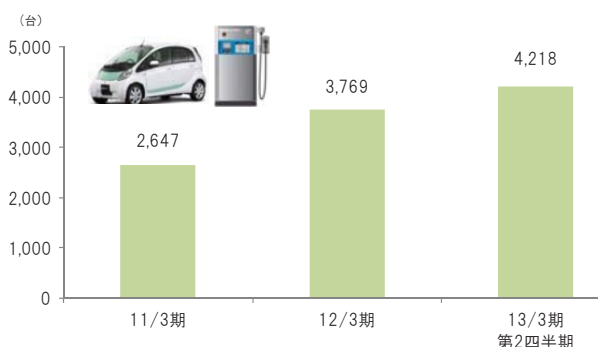
オートファイナンス・サービスネットワーク



車両管理台数の推移



電気自動車の管理台数の推移

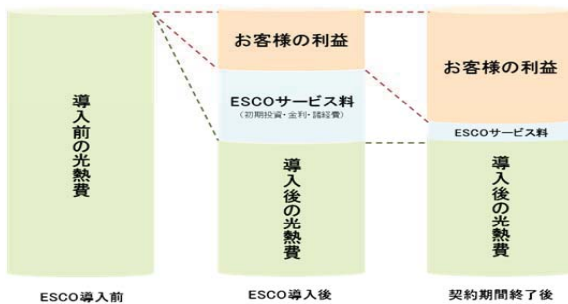


5) 環境関連サービス

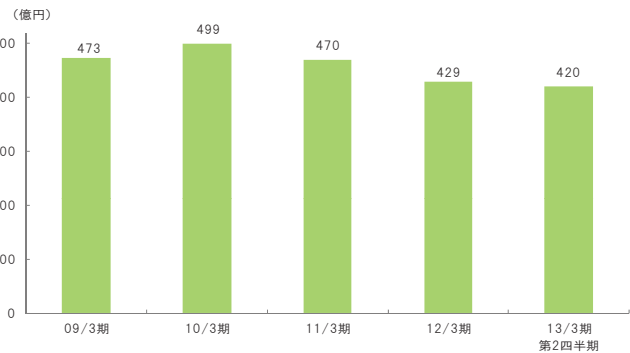
① ESCO (Energy Service Company) 事業

ビルや工場、ホテル、病院などの施設に対して、省エネルギー化のプランニング、改修工事、ファイナンス提供、エネルギー削減の効果保証などパッケージでサポートするESCO事業において、当社は豊富な実績とノウハウにより、お客様に合ったサービスを提供しています。これまでの取扱件数は累計で407件と、全てのESCO事業者の中でもトップクラスの実績となっています。

ESCOの導入メリット(イメージ)



ESCOの残高推移



【TOPICS】

省エネ大賞省エネルギーセンター会長賞を受賞

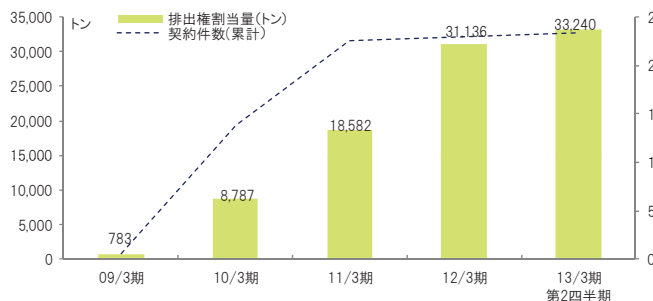
三菱UFJリースが代表企業を務める名古屋大学附属病院ESCO事業が、「平成23年度省エネ大賞省エネルギーセンター会長賞」を受賞しました。



② 排出権関連サービス

地球温暖化問題へのソリューションとして、リースする物件に排出権を割当て、リース物件から生ずるCO2を相殺する「カーボンナチュラルリース」や、お客様に代わって、排出権の購入から償却に至るまでの手続きを受託する「オフセットパートナーサービス」など排出権関連サービスをご提供しております。また、省エネ設備の導入によるCO2排出削減分から排出権を創出するサービスを行うなど、排出権に関する幅広いサービスをご提供しております。2012年9月末時点において、契約件数は累計で2,331件、排出権割当量は33,240トンの実績となっております。

契約件数と排出権割当量の推移(累計)



③ 環境ファイナンス

廃棄物処理施設や風力・太陽光等の発電設備の建設に際して、事業の収益性や安定性に重点をおいた「事業性担保融資」などを活用し、従来の融資手法では実現の難しかった投資や、中～大規模のプロジェクトファイナンス案件まで幅広いニーズに対応しております。

導入事例



フォークリフト



スポーツイベント



商品カタログ

【TOPICS】

海外メガソーラー発電プロジェクトファイナンス型リースを成約

タイで実施されるメガソーラー発電プロジェクトを対象としたプロジェクトファイナンス型リースを成約しました。プラントは本年10月より建設を着工し、2013年からの運転開始を予定しています。

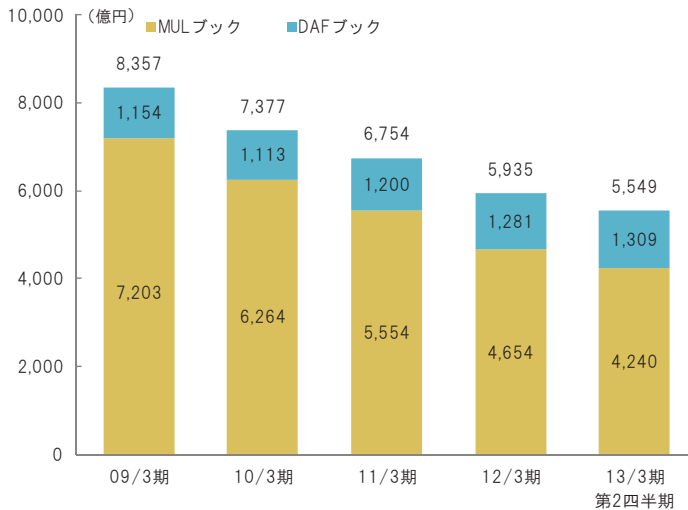
太陽光発電プラント建設予定地
(コンケン県チュンペー郡)



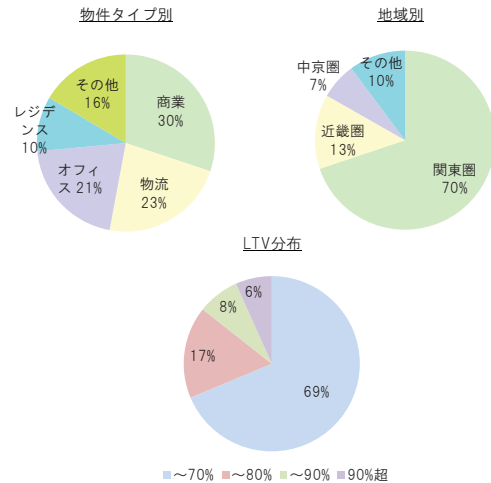
6)不動産関連ファイナンス(不動産関連サービス)

主に商業用、物流用、オフィス用を対象とした不動産関連ファイナンスでは、対象不動産からの収益力を評価して実行するノンリコースローンを中心に様々な案件を取組んでいます。不動産のノンリコースローンでは、厳格なリスク管理の下、主として信用力の高い大手不動産会社等が組成する案件を選別して取組んでいます。また、グループ会社のダイヤモンドアセットファイナンス(DAF)では、プロジェクトファイナンスやオーナーローンを取り扱うなど不動産関連におけるお客様の様々なニーズにお応えしています。

不動産関連ファイナンスの残高推移



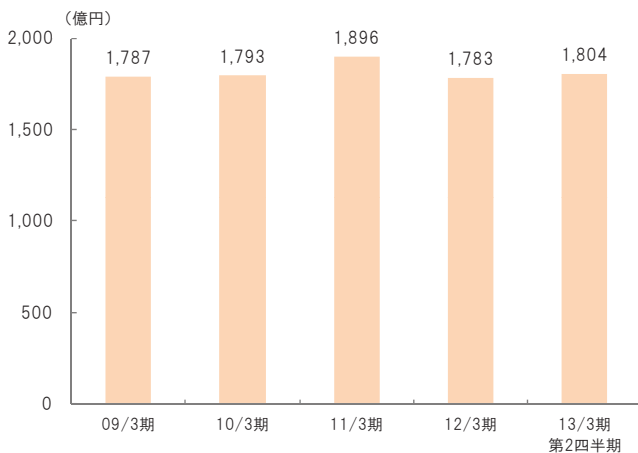
MULブック案件内訳とLTV分布(2012年9月末時点)



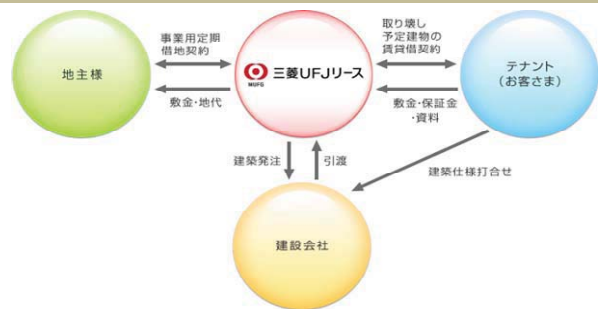
7)シンフォニー(不動産関連サービス)

事業用定期借地権を利用した建物賃貸借取引「シンフォニー」において、当社は大規模なショッピングモールや複合型商業施設を始め、物流施設やショールーム、飲食チェーン店など様々な建物を取組んでおります。テナント、デベロッパーの皆様にとっては、少額の初期投資でご希望の建物を機動的に展開でき、また、地主様にとっては土地の有効活用を図ることができます。

シンフォニーの残高推移



シンフォニーのスキーム



- 主なメリット**
- ✓初期投資が軽減
 - ✓キャッシュフロー負担の軽減
 - ✓コスト把握が容易
 - ✓複数の土地オーナーとの交渉が容易
 - ✓建物の所有に伴う管理事務の簡素化

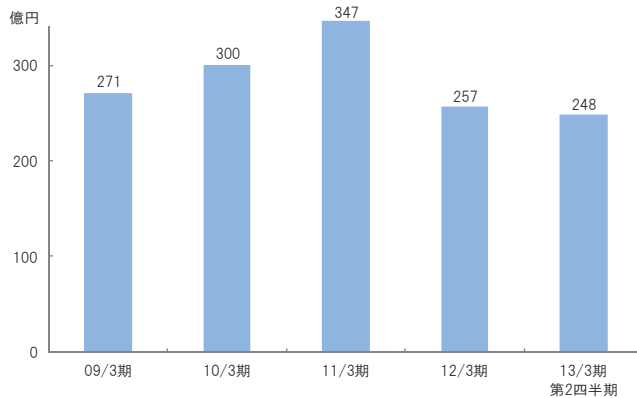
導入事例



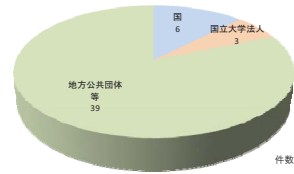
8)PFI事業

民間の資金・経営ノウハウを活用し、効率的・効果的な社会資本整備・公共サービスを実現するPFIにおいて、当社は単なるファイナンス機能の提供に留まらず、代表企業としてプロジェクト全体のマネジメントや出資を伴う事業参加も積極的に行っています。これまで当社は、累計で48件を受注し、うち15件は代表企業として取組んでおり、すべてのPFI事業者の中でもトップクラスの実績を誇っています。

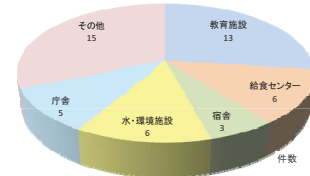
PFI事業における営業資産残高の推移



発注者別PFI事業内訳



施設種類PFI事業内訳



【TOPICS】

「(仮称)おおぶ文化交流の杜整備運営事業」が着工

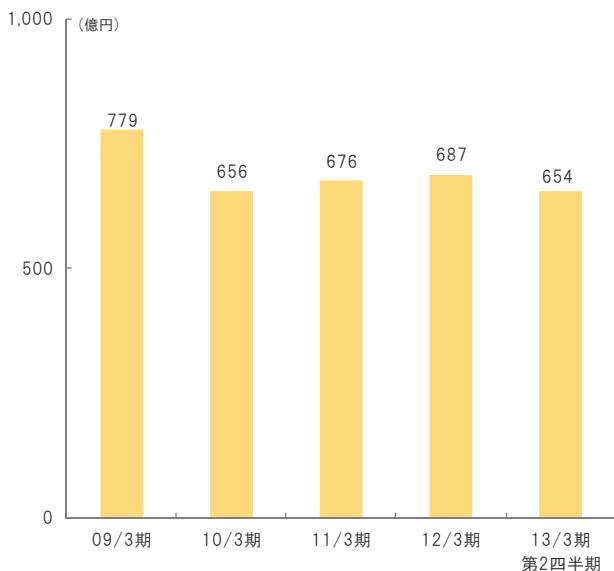
当社が代表企業を務める愛知県大府市によるPFI事業「(仮称)おおぶ文化交流の杜整備運営事業」が、本年10月に着工いたしました。



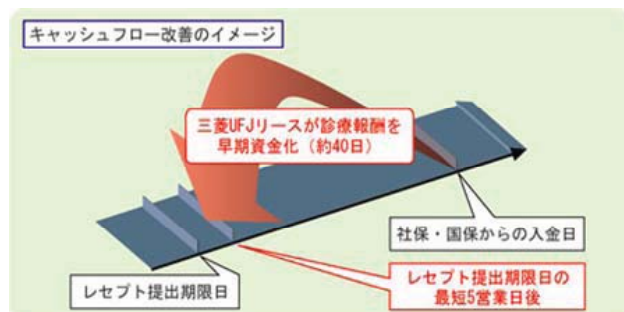
9)ファクタリング

小口大量債権の処理にも適応した専用システムを駆使して、主に売掛債権、診療報酬債権を対象に、お客様の資金ニーズに対応しています。お客様は債権を当社に譲渡することで、早期に資金化が可能となりキャッシュフローの改善を図ることができます。また、ファクタリングを活用して資産のスリム化に繋げるなど、財務戦略にも広くご利用いただいております。

ファクタリング(期中平均)残高の推移



診療報酬ファクタリングのイメージ



主なメリット

- ・早期資金化
- ・調達手段の多様化
- ・財務内容の改善(バランスシートのスリム化)

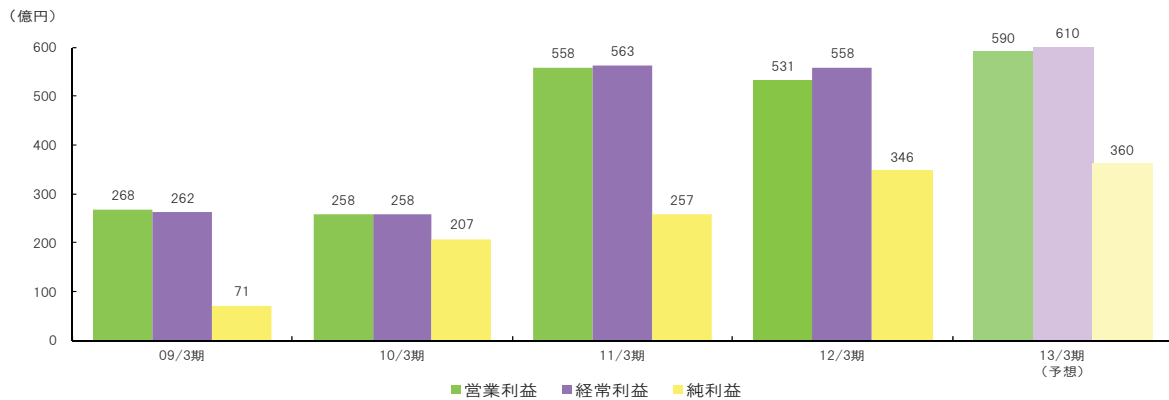
8. 2013年3月期業績予想

2013年3月期決算(予想)

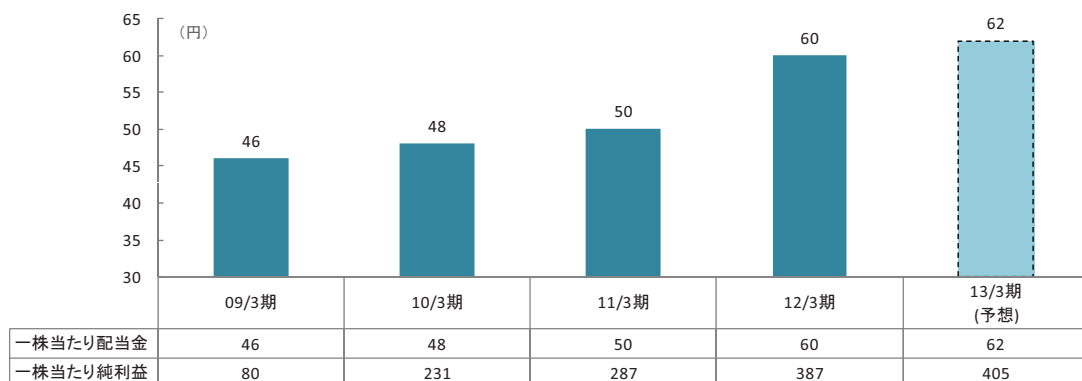
	連結	
	金額(億円)	前期比
売上高	7,000	-3.4%
売上総利益	1,180	+2.5%
営業利益	590	+11.0%
経常利益	610	+9.2%
純利益	360	+3.9%
一株当たり配当金	62円	+2円

上記数値は2012年11月5日時点での2013年3月期業績予想です。

連結業績の推移

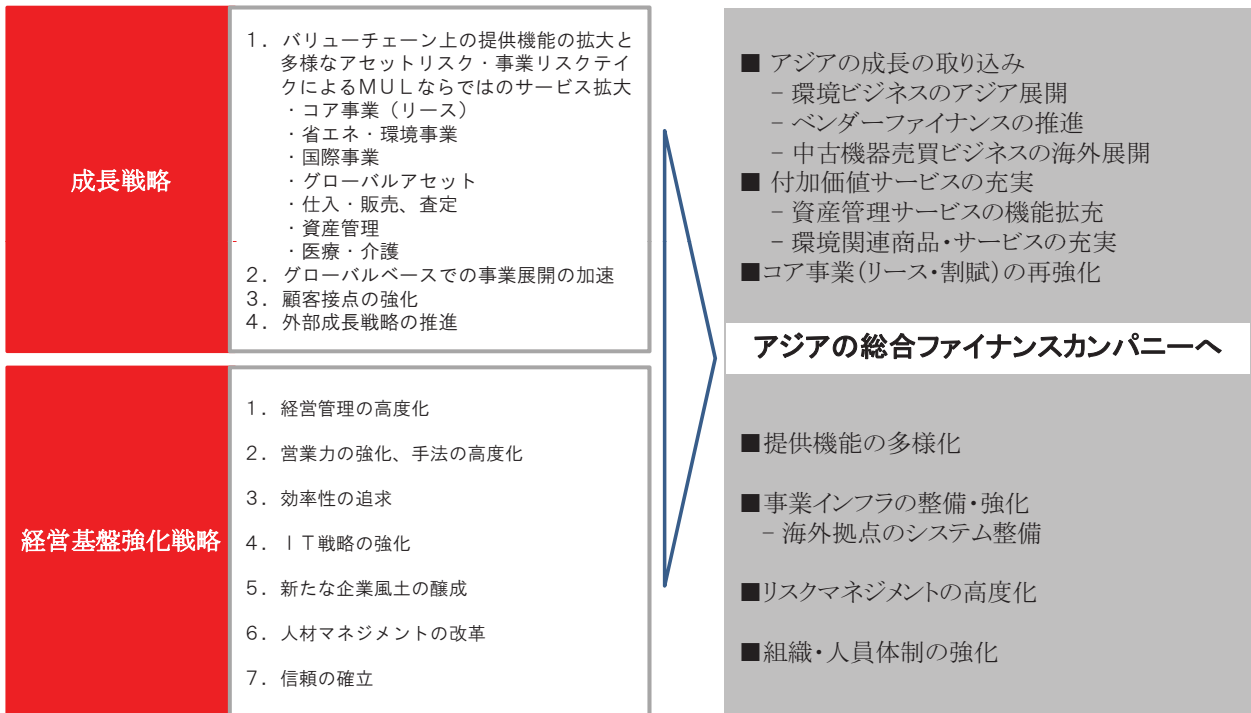


配当推移



9. 中期経営計画 “Vision 2013”

1. 中期経営計画 “Vision2013”





2. 中期経営計画の進展

1) 経営基盤強化戦略

- 営業手法の高度化施策の実施(ex. ストラテジックソリューション部の設立)
- 海外拠点におけるシステムの見直し
- 海外拠点の人員強化(ex. スタッフの増員・研修プログラムの充実)
- 人材多様性の促進
厚生労働省が主催する「平成24年度均等・両立推進企業表彰」のファミリーフレンドリー企業部門において東京労働局長奨励賞を受賞

2) 成長戦略

<p>省エネ・環境事業</p> 	<p>三菱UFJリースグループでは、強みである環境ビジネスを積極展開しています。最近では、タイにおいてメガソーラー発電プロジェクトを対象としたプロジェクトファイナンス型リース契約を締結するなど、海外での取り組みも一層進展しています。</p>
<p>資産管理サービス</p>  <p>e-Leasing Direct Platinumのデモ画面とバーコードリーダー</p>	<p>資産管理サービス「e-Leasing Direct」の英語版を開発し、国内外の資産情報を日本円に加え、主要外貨での登録を可能としました。</p> <p>また、10月にはリース資産に限らず、お客様が保有するすべての資産のライフサイクルにおける全ての情報を統合して管理できる、全く新しいコンセプトのサービス「e-Leasing Direct Platinum」をスタートしました。</p>

～グローバルベースでの事業展開～

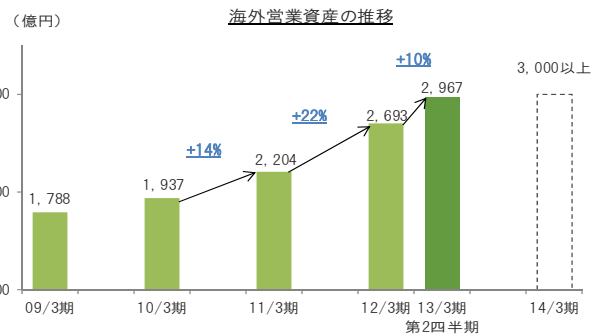
経済活動のグローバル化に伴う海外におけるお客様ニーズにお応えするため、拠点充実やアライアンスの強化を図りながら、海外市場での事業展開を加速させています。



海外における建機ビジネスの拡大

世界有数の鉱業資源に恵まれたインドネシアでは、石炭や天然ガスなどの採掘に使われる大型建設機械の取引が急速に拡大しています。

また、経済成長が続く中国では、地元企業に対するベンダーリースを実施するなど、各国でビジネスの裾野を広げています。



グローバルアセット

グローバル市場で価値の高い、流通性や汎用性に優れたグローバルアセットの拡大を図っています。

特に、今後の高い成長性が見込まれる航空機リース事業については、以下のような取組を推進しています



- ・航空機業界に精通した人材の積極登用
- ・航空機リース営業に特化したアイルランド現地法人MULアビエーションキャピタル(MULAC)を有人化
- ・大手航空機リース会社JSA International Holdings, L.P.の全出資持分取得契約を締結



グローバルネットワークを活用した中古機器売買ビジネスの伸長

三菱UFJリースグループのノウハウやネットワークを活かして、中古機器売買ビジネスを国内外で拡大しています。

- ・中古工作機械を取り扱うユーマシンがタイに営業拠点を開設
- ・中古医療機器商社のエムキャストがメーカーや商社とのアライアンスを強化
- ・プラントや工場のライン一式など大規模設備の仕入販売を手掛けるグローバル・アセット・ソリューションは、新興国を中心に海外取引を拡大



Value Integrator